

編集後記

娘の送迎の間、2時間ほど時間があつたので、温泉センターへ行って来た。ちょうど編集後記の割り当てが回ってきたので、何を書こうか考えながら、寝湯に寝転がり、久々に空を眺めていた。雨雲の上に白い雲、それらの雲の流れの合間に真青な空がのぞいていた。真青な空は、このまま宇宙の果てに続いているのだと思う一方、日本人宇宙飛行士の毛利さんや若田さんのように、漆黒の宇宙から青い地球を眺めると、全く違うのだろうと不思議な感覚になった。空を眺めているうちに、ふと、徹夜の実験の後、小休止に実験室の屋上に寝そべり、空を眺めていた大学院時代を思い出した。当時(1980年代後半)、世の中はバブル景気に沸いていた。学生の就職も空前の売り手市場で、就職協定により卒業年度の9月頃から会社訪問を開始し、11月には何社も内定が出ている学生も多かったと記憶している。現在とは例えば、学部3年や修士1年から、大学の大切な時期を就職活動に費やし、大企業の狭き門に披露困憊の学生も多

く、様々な面で問題となっている。当時と現在を比べてみると、スーパーコンピュータで長い時間をかけて計算していたのが、今ではパソコンで手軽に計算できる。図書館に行き、本や文献で調べていたことが、インターネットで簡単に調べることができる。文章や図は手書き、書類の送付はファックスで行っていたのが、パソコンやメールで、綺麗に迅速に行えるようになった。20有余年で便利な世の中に成ったものである。一方、情報があふれ、世の中の流れが速く成った中、スピード/選択/適切な判断がより必要となっている。ネットでの炎上、不確か/断片的な情報による世論形成、うつ病/自殺の増加、効率化に伴う人の減少と仕事の増加、情報発信等々に関する雑務の増加など、負の側面も多くなったと感じる。1985年米ソ首脳会談でITER計画がスタートし、現在、建設が始まっている。核融合も含め、20年後はどのような世の中に成っているのだろう。烏兔忽忽。

(假家 強)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	本島 修	副 会 長	小川 雄一	藤山 寛	常務理事	中村 幸男 (総務委員長)
理 事	疇地 宏 (企画委員長)		板垣 正文 (広告委員長)		伊藤 早苗	
	上杉 喜彦		斧 高一		加藤 敬	
	近藤 光昇 (財務委員長)		坂本 慶司 (広報委員長)		笹尾眞實子 (プログラム委員長)	
	寺井 隆幸		永津 雅章		林 康明 (出版委員長)	
	堀池 寛		山崎 耕造 (編集委員長)			
監 事	飯尾 俊二		松尾 慶一			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 山崎耕造(名大)

エディター 関子秀樹(九大)、田中雅慶(九大)、福山 淳(京大)、村上匡且(阪大)、室賀健夫(核融合研)

編集委員 秋山毅志(核融合研)、市來龍大(大分大)、出射 浩(九大)、大原 渡(山口大)、神谷健作(原子力機構)、片山一成(九大)、假家 強(筑波大)、菊池崇志(長岡技科大)、熊谷 晃(東京エレクトロンAT株)、後藤拓也(核融合研)、小林進二(京大エネ理研)、近藤正聡(核融合研)、三瓶明希夫(京都工繊大)、四竈泰一(京大)、柴垣寛治(鈴鹿高専)、曾我之泰(金沢大)、高橋幸司(原子力機構)、田代真一(阪大接合研)、中村龍史(原子力機構)、原 正憲(富山大)、東口武史(宇都宮大)、藤岡慎介(阪大レーザー研)、前原常弘(愛媛大)、三浦英昭(核融合研)、三宅弘晃(東京都市大)、宮本光貴(島根大)、吉沼幹朗(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第86巻第11号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,365円(本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2010年(平成22年)11月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。